

2021年6月28日

各 位

株式会社 ユビテック
(JASDAQコード6662)

作業者の安全見守りサービス「Work Mate」が「Apple Watch」に対応

株式会社ユビテック（本社：東京都港区、社長：大内 雅雄）は、工場や工事現場などで働く作業者の安全見守りサービス「Work Mate」において、新たに「Apple Watch SE（以下、「Apple Watch」）に対応しましたのでお知らせします。専用のアプリケーションをダウンロードすることで、Apple Watchで「Work Mate」をご利用いただけます。

1. Work Mateについて

「Work Mate」は、スマートウォッチを装着しシステムと連携させることで、製造現場や建設現場などの作業者の「転倒・転落検知」「SOSアラート通知」「屋内外位置測位」「バイタル情報測定」の各種情報を取得できる作業者の安全見守りサービスです。2021年1月には、作業者の健康面での労働災害を未然に防ぐため、新たに心拍数から熱中症の予兆となる大量発汗の状態を検知するアルゴリズムを独自に開発し、「熱中症予兆検知機能」を新たに追加しました。

2. Work Mateをご利用頂くことでApple Watch に表示される機能

(1) 熱中症予兆検知機能

心拍数と温湿度情報から、熱中症の予兆となる大量発汗の状態を検知し、作業者が熱中症になる前に休むタイミングを作業者と管理者の両方にアラートで通知します。作業者は、「Apple Watch」のバイブレーションや、画面の変化により、アラートを確認できます。



(2) 転倒・転落検知機能

「Work Mate」の転倒転落検知機能は、単に「転んだ」「つまずいた」のレベルではなく、「倒れて動けない」状態であることと定義しています。一定の加速度と数秒の停止時間が発生したときに「転倒しましたか?」というアラートが作業者の「Apple Watch」に表示されます。その後一定時間操作しないと、転倒して動けないと判断し、管理者にアラートが通知されます。また画面に従って操作（スワイプ）するとキャンセルされ、アラートは通知されません。



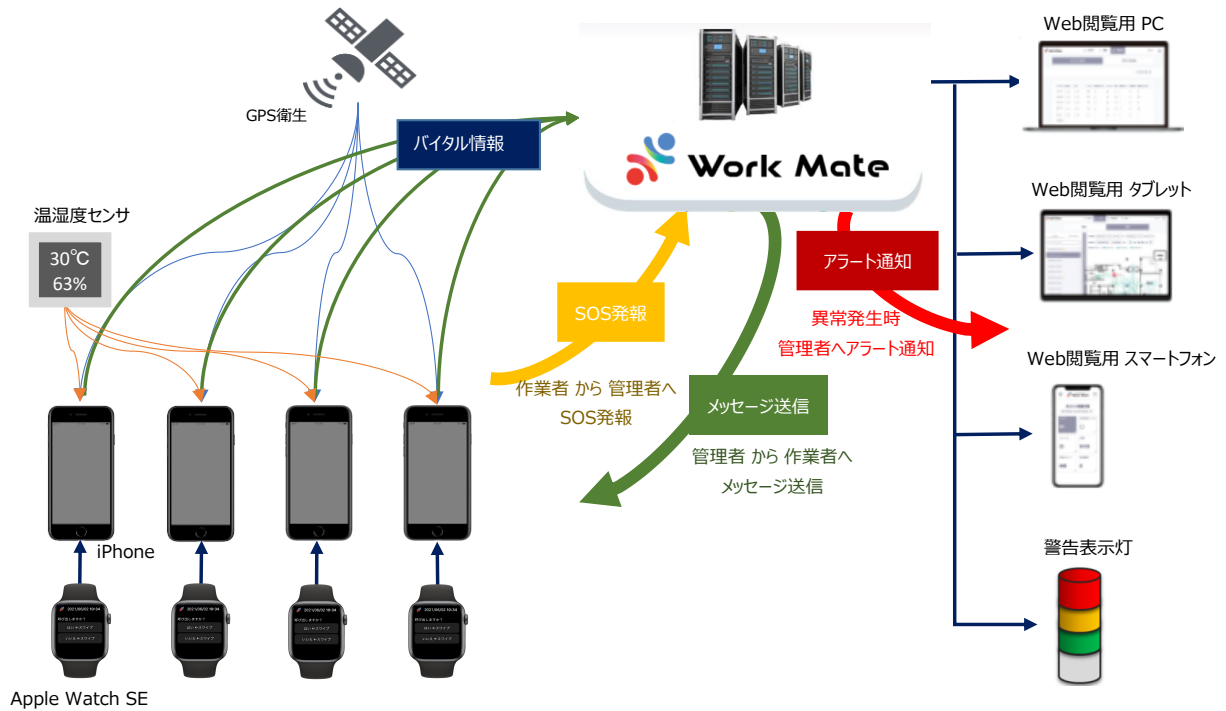
(3) SOSアラート通知機能

作業者が危険な状態にあるとき、作業者自身で「Apple Watch」の画面を操作し、SOSアラート（呼び出し）を発報することができます。

管理者側は、警告表示灯や、複数の端末でアラートを受け取ることが可能です。管理者自身が「Apple Watch」を着けている場合には、そのまま「Apple Watch」でアラートを受け取ることができます。



3. システム構成



導入システム構成イメージ

4. 今後の展開

ユビテックは、今後もIoTとAIのコア技術でデータの価値を創造し、お客さまの大切な経営資源をお守りする実行力のあるサービスを提供し続け、サステナブルな企業経営の実現に貢献してまいります。

以上

＜本件に関するお問い合わせ先＞
株式会社ユビテック 広報マーケティング室 松田・小笠 TEL : 03-5447-6731